

製図コンクール課題を活用して

BYOD(一人一台)端末を利用した授業をしてみませんか？

東日本建築教育研究会 製図コンクール運営委員会

多くの学校で令和4年度入学生から、BYOD(自分のデバイスを持ち込む)端末を各自で購入し、それを活用した授業が行われています。しかしながら、

- ・どのように活用したらいいのか？
- ・活用している事例を知りたい！
- ・建築教育でどのように活用すればいいのか？
- ・ICT活用は得意ではない、ハードルが高い！

など



本委員会内でも話題になっているところです。
現場で指導されている先生方の多くは、同様な悩みをお持ちではないでしょうか？
そこで、まずはできるところか、始めてみてはいかがでしょうか。

例えば…

- 本研究会のHPで公開している
- ◎製図コンクール実施要項(課題)の読み込みをする
- ◎参考作品の閲覧をする
- 「調べ学習」の延長で、端末を活用する。

など



更には…

- ◎実施要項(課題)の確認をした後、作図する際に注意すべき事項を各自で考えさせ、オンライン掲示板アプリ「Padlet」を活用し、情報を共有する

<参考 URL>

- オンライン掲示板アプリ「Padlet」
<https://padlet.com/>
- Padletの使い方と授業活動のアイデア
<https://edujapa.com/mikke/level/padlet/>

※別添の「BYOD活用授業」を参考にしてください。

- ◎課題3、5においては、様々なアプリを活用する
 - 設計課題の調べ学習 (インターネットの活用)
 - 設計趣旨の作成 (ワープロソフト等の活用)
 - CAD図面の作図 (JW_CADの活用)



※発想(考え方)は、「ブレインストーミングをPC上で行う」イメージです。

あまり難しく考えずに「今までアナログで実践してきたことをデジタルに置き換える」という視点で、端末を活用することで導入のハードルが下がると思います。ぜひ、本研究会製図コンクールの課題を活用してBYOD端末の利用を試みてください。

担当者 製図コンクール運営委員会
山梨県立甲府工業高等学校 森嶋 真一
E-mail : con@hnkkk.org